

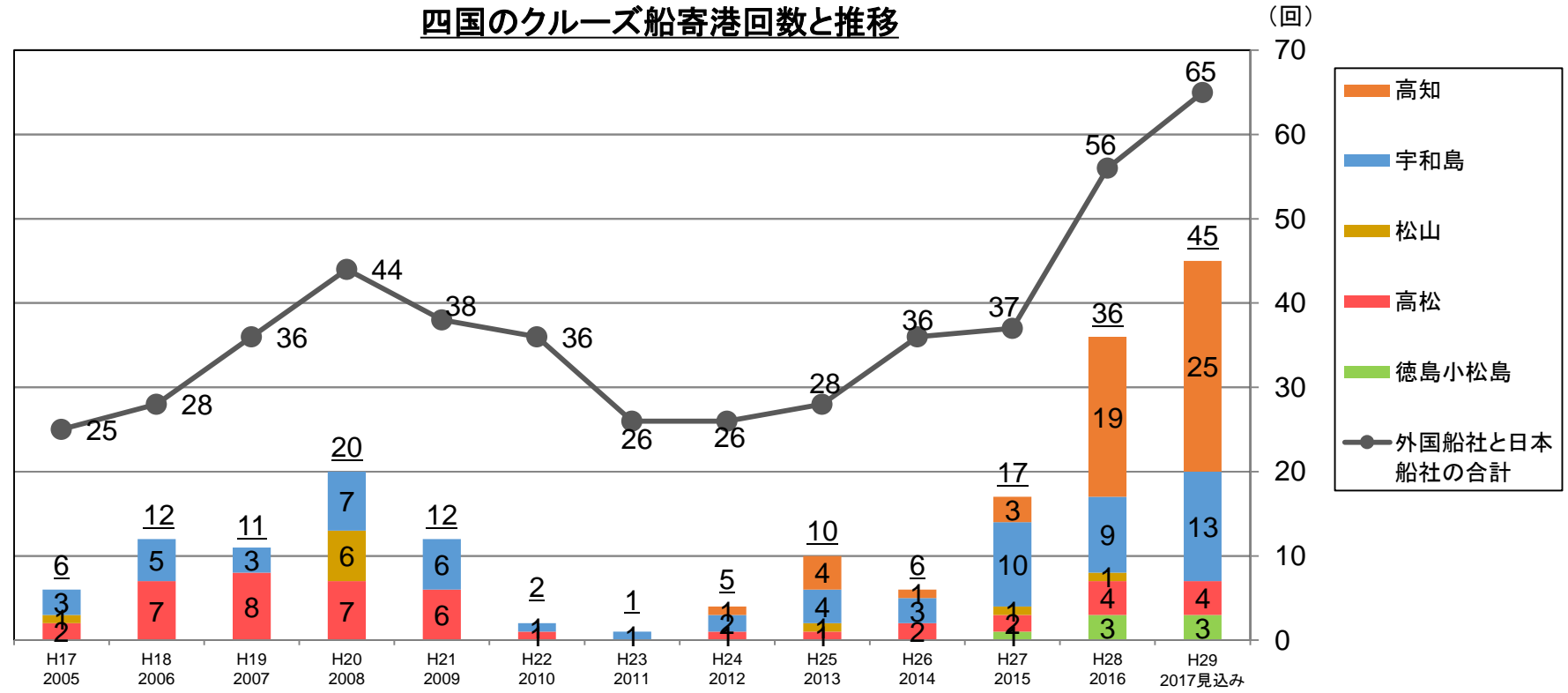
# 四国における瀬戸内海クルーズの現状及び課題

平成29年5月22日  
四国地方整備局 港湾空港部

# 四国への外航船社のクルーズ船寄港の状況 -2017年は過去最高65回の見込み-

- 四国へのクルーズ船寄港回数は、平成28年に過去最高の56回（前年比1.5倍）、うち外国船寄港回数は36回（前年比2.1倍）となった。また、平成29年のクルーズ船寄港予定回数は、65回（うち、外国船社45回：前年比1.2倍）を予定。
- 四国へのクルーズ船訪日乗降客数は、平成28年 約55,700人（前年比12.1倍）に急増した。

四国のクルーズ船寄港回数と推移



注: 港湾管理者への聞き取りをもとに四国地方整備局港湾空港部で作成  
: H29はH29.3.1時点で見込みを含むため変更となる場合がある

クルーズ船により四国を訪れた訪日乗降客数

		2014年(実績)	2015年(実績)	2016年(実績)
外国人旅客数(人)	四国計(前年比)	約2,600	約4,600 (1.8倍)	約55,700 (12.1倍)

注: 上記は港湾管理者への聞き取りをもとに、国土交通省四国地方整備局にて作成。  
: 上記は寄港地ごとに集計しているため、同一の旅客が複数の寄港地を訪れた場合は重複して計上されている。

# 平成28年 四国へ寄港したクルーズ船一覧・諸元

入港月日	港名	船名
3月24日	高松	にっぽん丸
3月26日	高松	にっぽん丸
4月1日	高松	ル・ソレアル
4月5日	高松	カレドニアンスカイ
4月7日	宇和島	カレドニアンスカイ
4月9日	宇和島	ル・ソレアル
4月19日	宇和島	ル・ソレアル
4月20日	宇和島	カレドニアンスカイ
4月22日	高松	カレドニアンスカイ
4月25日	宇和島	ル・ソレアル
5月5日	宇和島	ル・ソレアル
5月8日	高知	マリナー・オブ・ザ・シーズ
5月11日	高松	カレドニアンスカイ
5月11日	高知	飛鳥Ⅱ
5月12日	高知	ゴールデン・プリンセス
5月15日	宇和島	カレドニアンスカイ
5月23日	高知	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
5月28日	高知	飛鳥Ⅱ
5月29日	宇和島	カレドニアンスカイ
5月29日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
5月30日	徳島小松島	ゴールデン・プリンセス
6月3日	高松	カレドニアンスカイ
6月5日	松山	カレドニアンスカイ
6月11日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
6月29日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
7月14日	八幡浜	ぱしふいっくびいなす
7月16日	小豆島	ぱしふいっくびいなす
7月19日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
8月12日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
8月12日	徳島小松島	飛鳥Ⅱ
8月13日	徳島小松島	ダイヤモンド・プリンセス
8月13日	高松	飛鳥Ⅱ
8月14日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
8月14日	徳島小松島	ぱしふいっくびいなす
8月15日	徳島小松島	にっぽん丸
8月18日	徳島小松島	にっぽん丸
8月22日	高知	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
8月23日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
8月29日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
9月14日	高知	飛鳥Ⅱ
9月18日	徳島小松島	飛鳥Ⅱ
9月23日	高知	セレブリティ・ミレニアム
9月24日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
9月24日	小豆島	にっぽん丸
9月25日	徳島小松島	ぱしふいっくびいなす
9月28日	高知	マリナー・オブ・ザ・シーズ
10月9日	あしずり	にっぽん丸
10月9日	徳島小松島	ロストラル
10月11日	高松	にっぽん丸
10月17日	宇和島	ロストラル
10月17日	高知	飛鳥Ⅱ
10月22日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
10月31日	小豆島	にっぽん丸
11月8日	高知	オペレーション・オブ・ザ・シーズ
11月10日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
11月21日	小豆島	ぱしふいっくびいなす

計 56回(参考 H27実績 37回)  
 太字は外国船社 港湾管理者からの聞き取りによる

船名/(乗客定員)	2016年寄港実績岸壁	サービスクラス	船型・同縮尺イメージ	写真
ロストラル (外国船社) (264人)	・宇和島港/坂下津2号岸壁(-7.5m) ・徳島小松島港/沖州(外)岸壁(-7.5m)	ラグジュアリー	 総トン数 10,700トン 全長142m	
にっぽん丸(内航) (日本船社) (398人)	・高松港/5万 <sup>ト</sup> 岸壁(-10m)・あしずり/岸壁(-7.5m),徳島小松島港等	プレミアム	 総トン数 22,472トン 全長166.7m	
ぱしふいっくびいなす(内航) (日本船社) (476人)	・徳島小松島港/金磯岸壁(-11m) ・宿毛湾港/池島4号岸壁(暫定-10m)	カジュアル	 総トン数 26,594トン 全長183.4m	
飛鳥Ⅱ(内航) (日本船社) (872人) ※邦船最大	・徳島小松島港/金磯岸壁(-11m) ・高松港/5万 <sup>ト</sup> 岸壁(-10m) ・高知港/三里7-2岸壁(-12m)	ラグジュアリー	 総トン数 50,142トン 全長 241.0m	
ダイヤモンド・プリンセス (外国船社) (2,670人)	・徳島小松島港/赤石岸壁(-13m) ・高知港/三里7-3岸壁(暫定-12m)等	プレミアム	 総トン数 115,875トン 全長 290.0m マスト高 54m	
クァンタム・オブ・ザ・シーズ (外国船社) (4,180人) ※四国寄港最大級	・高知港/三里7-3岸壁(暫定-12m)、三里7-4岸壁(-11m)	カジュアル	 総トン数 168,666トン 全長 348m マスト高 62.9m	
船名/(乗客定員)	サービスクラス	船型・同縮尺イメージ	写真	
オアシス・オブ・ザ・シーズ (5,400人)(外国船社) ※世界最大級	プレミアム	 総トン数 225,282トン 全長 361.0m マスト高 65m		

※参考: 瀬戸大橋の最大桁下高 65m、高松サンポート合同庁舎 約67m

出典:「クルーズシップコレクション(海事プレス社)」を基に作成。

# 瀬戸内海が誇る多島美

○瀬戸内は、大小さまざまな島と静穏な海が織りなす、他には無い美しい景観を持ち、刻々と変化する景色は旅客を飽きさせない。  
**昼間、景色を楽しむクルーズに適している。**

○クルーズにより**瀬戸内海の魅力を海からの視点で再発見**できる。

- 瀬戸内らしい多島美が楽しめる  
コアなクルーズエリア
- コアなクルーズエリアから  
広がっていくエリア



②女木島から望むサンポート高松  
(香川県 高松市)



①しまなみ海道と夕日  
(愛媛県 今治市)



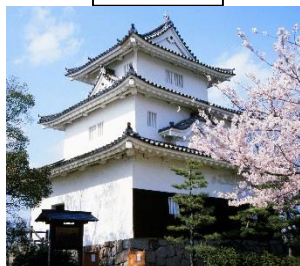
③五色台から望む  
(香川県 高松市)

※地図については、「第3回瀬戸内におけるクルーズ活性化検討会」中国地方整備局資料より引用

掲載写真：香川県観光協会HPより。

# 香川県周辺における観光資源

丸亀城



京極氏が治めた丸亀藩の丸亀城。山麓から山頂まで合わせると総高さ60メートル。  
(高松港から30km、所要時間45分)

聖通寺展望台



瀬戸大橋、坂出市、宇多津町を一望できる展望台 (高松港から23km、所要時間40分)

ベネッセアートサイト (直島)



瀬戸内海の島のひとつ直島。芸術家 草間彌生氏の作品「南瓜」。(高松港から12km、所要時間55分)

二十四の瞳映画村



小豆島にある二十四の瞳の映画ロケ地となった分教場。(高松港から40km、所要時間100分)

栗林公園

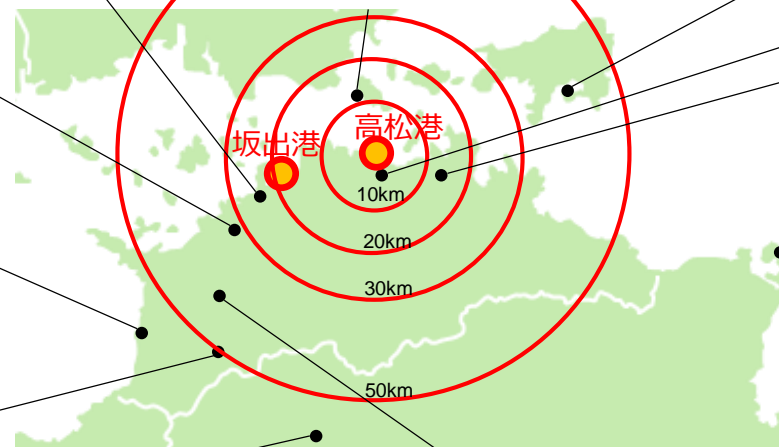


高松藩別邸として使われた日本庭園 (高松港から3.6km、所要時間15分)

銭形砂絵



観音寺市にある寛永通宝を模した巨大な砂絵。  
(高松港から55km、所要時間70分)



セカチュー映画ロケ地



庵治町にある、「世界の中心で愛を叫ぶ」のロケ地。  
(高松港から15km、所要時間40分)

雲辺寺



空海により建立されたとされる雲辺寺。スキー場も兼ね備えている。(高松港から65km、所要時間110分)

祖谷のかずら橋



長さ45m、幅2m、高さ14mで日本三奇橋の一つ。丸太や割木を荒く編んだ橋で、すき間から川面が望める。  
(高松港から130km、所要時間120分)

金刀比羅宮



海上交通の守り神として信仰されている金刀比羅宮。旧金毘羅大芝居でも有名。(高松港から35km、所要時間60分)

鳴門の渦潮



紀伊水道の潮流により発生する鳴門の渦潮。  
(高松港から75km、所要時間75分)

(※各観光地の下に記載の距離及び所要時間は、有料道路等の道路を使った場合である。)

# 愛媛県周辺における観光資源

松山城



標高132m山頂にそびえ立つ松山のシンボル。  
江戸時代より現存する12天守の一つで桜の名所。  
(松山港から9.0km、所要時間20分)

坂の上の雲ミュージアム



松山出身の偉人の生涯を通して、近代国家として  
成長していく明治日本の姿を展示。  
(松山港から9.0km、所要時間20分)

しまなみ海道



愛媛と広島を結ぶ瀬戸内しまなみ海道。  
日本初の瀬戸内海横断自転車道を併設。  
(松山港から75km、所要時間70分)

今治城



築城の名手・藤堂高虎が手がけた珍しい  
三重の堀に海水を引き込んだ海岸平城。  
(松山港から70km、所要時間70分)

石鎚神社



西日本最高峰の石鎚山を新体山とする神社。  
山麓に鎮座する本社(口之宮)  
(松山港から60km、所要時間50分)

県立とべ動物園



西日本最大級の広大な敷地に  
約160種類の動物を飼育。  
(松山港から16km、所要時間30分)

八日市・護国の町並み



豪壮な商家や土蔵、民家などの建物が軒を連ね、  
国の重要伝統的建造物群保存地区となっている。  
(松山港から50km、所要時間50分)

大洲城



4階4層の天守は伝統的な工法で昔の姿に復元。  
江戸時代から残る4つの櫓は国の重要文化財。  
(松山港から65km、所要時間70分)

道後温泉



本造三造楼の本館は、国の重要文化財であり  
ながらも、現役の大衆浴場としても親しまれてい  
る。(松山港から11km、所要時間22分)

別子銅山



銅採掘により栄えた山中の鉱業遺跡。  
「東洋のマチュピチュ」と称される。  
(松山港から75km、所要時間70分)

タオル美術館

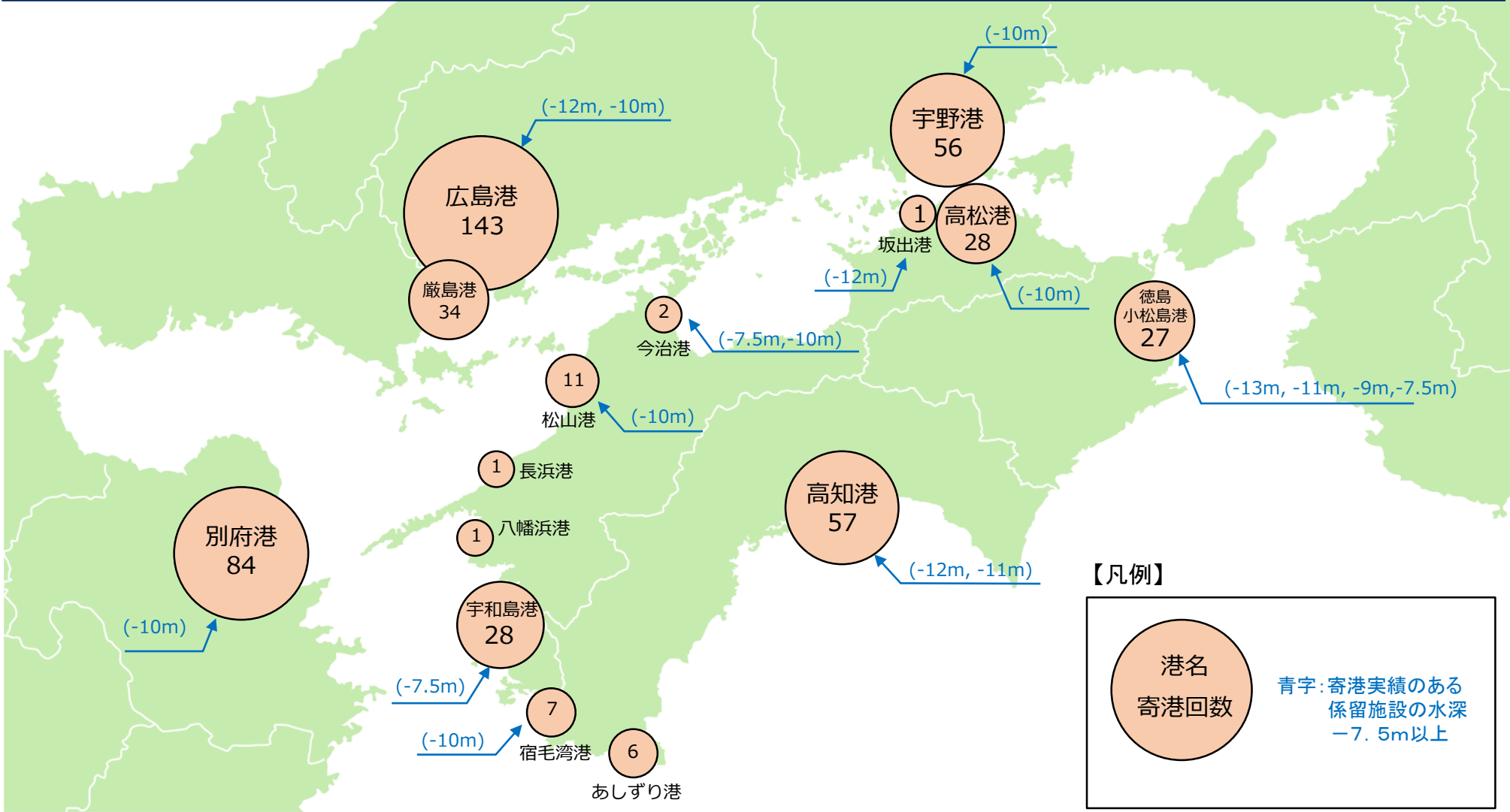


タオルの製造工程やタオルアートの  
世界を楽しめる。  
(松山港から60km、所要時間60分)

(※各観光地の下に記載の距離及び所要時間は、有料道路等の道路を使った場合である。)

# 四国及び瀬戸内海におけるクルーズ船寄港実績(2012年~2016年)

○ 高松港、松山港、坂出港は、背後に世界に誇る観光資源を有しているにも関わらず、瀬戸内海沿岸の他港や太平洋側の港湾と比較してクルーズ船の寄港回数が少ない状況。



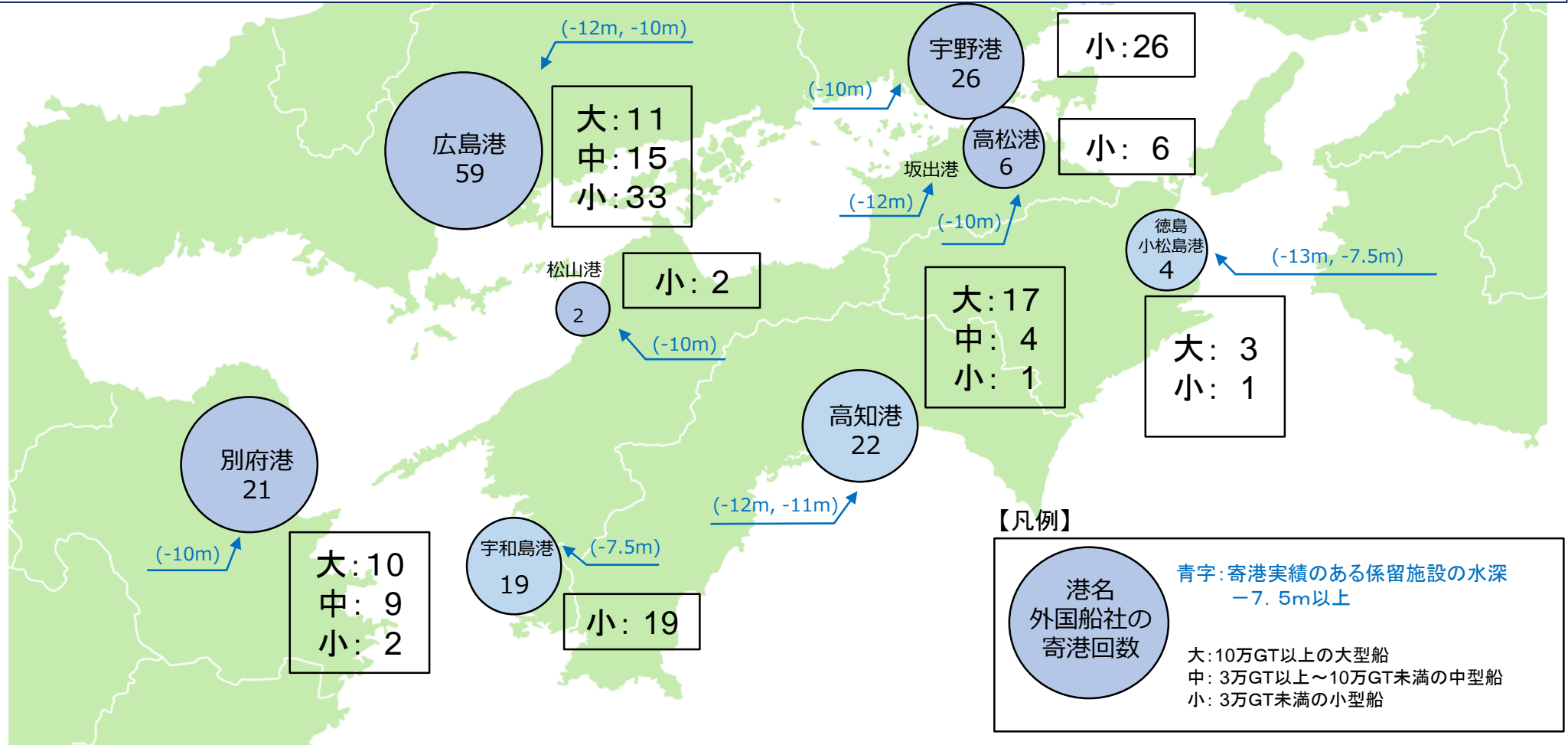
【凡例】



※四国以外は寄港数10隻以上の港のみを表記

# 四国及び瀬戸内海における外国船社のクルーズ船寄港実績(2015年~2016年)

- 外国船社の寄港数についても、高松港、坂出港、松山港は、四国・瀬戸内海沿岸の他港と比較して少ない状況。
- そのうち、船型別にみると、松山港は、小型船が2回であるのに対し、瀬戸内海西側の他港については、様々な大きさのクルーズ船が一定数寄港している。
- 瀬戸内海東側についてみると、高松港、宇野港とも小型船が寄港しているが、高松港は寄港数が少ない。



**【凡例】**

青字: 寄港実績のある係留施設の水深 -7.5m以上

大: 10万GT以上の大型船  
 中: 3万GT以上~10万GT未満の中型船  
 小: 3万GT未満の小型船

港名  
外国船社の  
寄港回数

※四国以外は寄港数10隻以上の港のみを表記



# 四国における瀬戸内海クルーズの課題の事例

○ 高松港、坂出港、松山港においては、以下のような共有課題が挙げられる。

(受け入れ施設の課題)

## 課題1: 港湾貨物とクルーズ船との調整

・着岸する岸壁によっては、貨物船と競合するため、荷役や貨物の搬出日を調整する等、物流への影響を回避することが必要。

## 課題2: 旅客ターミナルとCIQ手続き

・ふ頭に旅客ターミナル等の施設がないため、一部のCIQ手続きは臨時テント等で実施せざるを得ない場合があり、荒天時には不便が生じている。  
・大型クルーズ船の寄港時には、CIQ手続きの迅速化や内陸へのアクセスの更なる円滑化、迅速化が必要。

## 課題3: Wi-Fi環境の整備

・貨物船ふ頭にクルーズ船が寄港する場合は、Wi-Fi環境が整備されていないため、ポータブルの機器の貸し出し等の対応が必要。

## 課題4: 多言語表記等

・貨物船ふ頭にクルーズ船が寄港する場合は、主要な観光施設までの多言語標記の標識等の設置が望まれる。  
・クレジットカード使用可能な店の周知徹底等、買い物時の利便性向上が必要。

## 課題5: 国際埠頭施設(SOLAS)の対応

・クルーズ船の寄港の際は、国際埠頭施設(SOLAS)の対応が必要。

(寄港誘致活動に関する課題)

## 課題6: 誘致活動

・更なるクルーズ船の寄港を促進させるために、効果的な誘致活動の充実・深化が望まれる。  
例えば、海外のクルーズ船社及び旅行会社と連携し、海外の航海ルートに日本を入れてもらう取り組みや地域の観光資源・食文化を最大限活用して、クルーズ船の乗客の嗜好に合わせた提案等更なる「おもてなし」レベルの向上が必要。

(地元受け入れ体制の課題)

## 課題7: バス・タクシー、駐車場等の確保

・大型船の寄港時には、営業区域内のバス・タクシーだけでは対応できないため、他県への要請が必要。  
・各観光箇所において駐車場が足りない場合には、他の公共施設での確保が必要。

(その他の課題)

## 課題8: 免税店の拡大

・地元での消費を促す免税店の出店を拡大するため、今後、機会を捉えて商店側へ制度の周知や研修会の実施が必要。

## 課題9: 技術基準の緩和

・受け入れ施設としての泊地の広さは、船長の2倍以上との基準があるが、既存施設の活用を促進するためには、近年の船舶の性能向上を踏まえて技術基準を緩和することが望ましい。

# 高松港における課題の事例

- 現在、クルーズ船が寄港している、玉藻地区の-10m岸壁は、高松駅等、市街地へのアクセスの利便性は高いが、大型クルーズ船の係留には延長が短い。
- 一方、今後、大型クルーズ船の寄港を予定している朝日地区の-10m岸壁は、航行安全検討委員会に諮り、大型クルーズ船の入港は可能であるものの、週4日(7便)のコンテナ船等が就航しており、これら利用者との調整が必要。

## 旅客船用岸壁

(水深-10m、延長310m)

飛鳥Ⅱ(定員約870名) など



あさひ  
朝日地区

## 朝日地区コンテナターミナル

(水深-10m、延長370m)

【外貿】  
韓国・中国航路(6便/週)  
【内貿】  
阪神航路(1便/週)



※今後、大型クルーズ船(ダイヤモンド・プリンセス(定員約2,700名))の受入れが可能

たまも  
玉藻地区

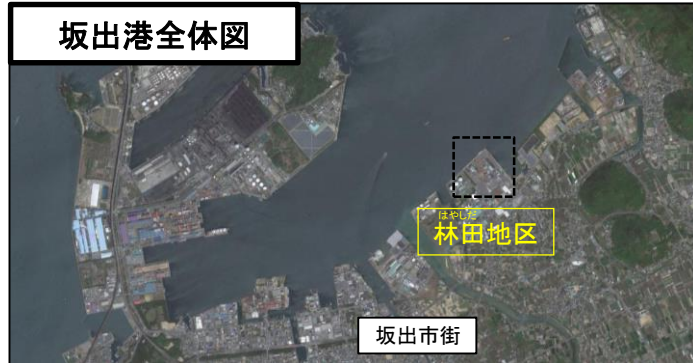
高松駅

フェリー・旅客船  
(岡山、離島)

高松市街

# 坂出港における課題の事例

- 現在、クルーズ船が寄港している、林田地区の-12m岸壁は、水深が深く、延長も長い。また、背後ふ頭用地を大型バスの駐車場に活用できるなど、船社からのクルーズ船寄港のニーズは高い。
- 一方、当該岸壁は穀物を扱うバルク船が就航しており、これら利用者の調整が必要となる。
- 大型のクルーズ船が寄港するためには、係船柱の耐力が不足するため、改良が必要。



# 松山港における課題の事例

- 現在、クルーズ船が寄港している、外港地区の-10m岸壁は、RORO船や自動車専用船が就航している貨物船ふ頭であり、クルーズ船寄港に際しては、これら利用者との調整が必要になる。
- また、外港地区では、過去にクルーズ船の乗客から、外港地区-10m岸壁の周辺の景観が良くない、歓迎イベントが質素等の意見があった。
- 高浜地区の観光港ターミナルには、フェリーや高速艇が就航しており、当該地区にクルーズ船を誘致する場合には、利用者との調整が必要になる。
- 大型のクルーズ船が寄港するためには、係船柱の耐力が不足するため、改良が必要。
- クルーズ船寄港時に、多くの人に港へ来てもらうためには、積極的な周知・PRが必要。

## 貨物船用岸壁

(水深-10m、延長370m)

- 【RORO船( )】
  - 東京・博多航路(1便/週)
- 【自動車専用船】
  - 横浜、名古屋、北九州等(不定期)



フェリー(水深-6.0m、延長160m)

- 松山～広島(10便/日)



フェリー(水深-8m、延長238m)

- 松山～小倉(1便/日)



高速艇(水深-6.5m、延長207m)

- 松山～広島(12便/日)



スクラップ  
置き場

シャーシ置き場

# (参考)「海ネット活動によるクルーズ振興支援」

- 「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(平成3年設立、117市町村、11府県、9国機関で構成)は、瀬戸内海の活性化・魅力向上・防災対策に関する先導的な取り組みを支援。
- クルーズ振興に関しても、会員が行う寄港地での歓迎イベントやクルーズ船の誘致活動の取り組みを支援。

## 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会の支援制度 (瀬戸内海クルーズ推進活動への支援)

### ①クルーズ船等寄港地歓迎イベント支援

クルーズで訪れる乗船客を海の玄関口である「みなと」でおもてなしして、瀬戸内海地域の魅力を発信する活動を支援。(1会員1回まで、限度額5万円)。



クルーズ船寄港地歓迎イベント支援 例  
(香川県:H28.6.3カレドニアン・スカイ)

### ②クルーズ船誘致活動支援

瀬戸内海の観光振興に資するクルーズの積極的な誘致を図る単独又は複数の会員の取り組みを支援。(1会員1回まで、限度額10万円)。



クルーズ船誘致活動支援 例  
(宇和島市:H29.2.21-22 海外船社等招聘事業)

### (その他)

#### (1)瀬戸内海活性化活動支援

①ネットワーク活動支援:複数の会員が連携して地域の交流・連携・振興に取り組む活動を支援。(1会員1回まで、限度額20万円)。

②個別活動支援:各会員が先導的に実施する地域振興に資する良質なイベント・活動等を支援。(1会員1回まで、限度額10万円)。

#### (2)魅力検討委員会の支援事業

##### ①瀬戸内・海の路利用振興事業

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」(海ネット協定)の実行性を確認することを目的に、平時における「瀬戸内・海の路」を活用したモニターツアー<新規ルートの開拓>の実施を支援。(限度額20万円)。

##### ②海ネットサポーター提案事業

瀬戸内海のブランド化に向けて、会員と海ネットサポーターとが連携し、瀬戸内海の魅力を発信する取り組みを支援。(限度額20万円)。

#### (3)防災対策推進活動支援事業

海ネット協定の実効性の確認・向上に資するため、海の路を通じた人員・物資輸送ルート、被災者の緊急搬送ルート等を確認するための「共同防災訓練」を複数の会員による連携のもと実施する取り組みを支援。(限度額20万円)。

# (参考) 瀬戸内海におけるクルーズ船の利用例

- 平成28年10月17日宇和島港にて外国クルーズ船「ロストラル」の寄港にあわせ、四国で初めて臨時の消費税免税店(臨時販売場)が出店、地元宇和海産の真珠などを販売。
- 瀬戸内海の離島や小豆島などクルーズ本船で直接寄港できない港において、テンダーボート(通船)により乗客を案内するツアーを実施、瀬戸内国際芸術祭2016などの鑑賞。

## 宇和島港での臨時免税店の様子



宇和島港にロストラル寄港



株)うわじま産業振興公社 出店状況

## テンダーボート(通船)を利用した離島への観光



※青色は、1日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
 赤色は、2日目に通船またはテンダーボートを利用して移動したルート  
 灰色は、本船での移動ルート



通船を利用した移動



通船から沖泊中の本船へ乗船

(出典: 商船三井客船オフィシャルサイト)

平成28年5月3日(火) 港湾新聞 1面記事より

<アンソニーH・カウフマン プリンセス・クルーズインターナショナル・オペレーション担当  
エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント>

「2013年から日本発着クルーズを開始したが、2017年の日本発着クルーズは6カ国29箇所の寄港地を巡り、4月から11月まで7カ月超という、ダイヤモンド・プリンセスにとって過去最長となります。日本は独自の文化をもっており、豊かな観光地がたくさんあるので、

……(中略)……

「今後も日本の皆様のために配船、投資をしていきたい。」

<菊地国土交通省港湾局長>

「政府では、安倍総理を議長とする「明日の日本を支える観光ビジョン」で、新しい目標を立てました。訪日クルーズ客100万人を目標としていた2020年に、500万人を日本に迎えるという、非常にチャレンジングな目標ですが、

……(中略)……

「国交省としては、プリンセス・クルーズをはじめ、客船が日本に寄港する際の受入れ体制をしっかりと整えて、いつでも来られるよう日本の港を作っていきたいと思っております。」